

## スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

- 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」は、国が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。
- 選定された都市に対して、国は、海外展開支援や規制緩和等を積極的に実施。当地域は、2020年7月に本拠点都市に選定された（※）。
- 中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市をコアメンバーとしてコンソーシアムを組成し、各機関が実施する施策を中心に形成計画を作成。
- 愛知県の施策としては、「ステーションA i」を中核とした「Aichi-Startup 戦略」に位置づけた主な事業を反映。

（※）スタートアップ・エコシステム拠点都市一覧

### 【グローバル拠点都市】

- ・スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム
- ・Central Japan Startup Ecosystem Consortium (当地域)
- ・大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム
- ・福岡スタートアップ・コンソーシアム

### 【推進拠点都市】

- ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議
- ・北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム

### 【コンソーシアムの組成】

- ▷ 名称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ▷ 構成：Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium、浜松市スタートアップ戦略推進協議会
- ▷ 代表者：一般社団法人中部経済連合会会長
- ▷ 構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市始め 172 企業・団体・大学等
- ▷ コンセプト：
  - ① 卓越した次世代教育を受けた人材の輩出
  - ② 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化
  - ③ ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決
  - ④ ベンチャーファイナンスの仕組みを構築



Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」の実現

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

自動車等、共通の産業基盤の集積  
(地域・企業を越えた連携の実績・素地)

浜松市スタートアップ戦略推進協議会

ものづくりスタートアップの拠点としての役割を担う「浜松バレー」の実現

### 【J-Startup CENTRAL の選定】

- 経済産業省が実施する官民集中支援プログラム「J-Startup」の地域版である「J-Startup CENTRAL」を開始。
- 2021年1月に当地域からグローバルな活躍を目指すスタートアップを選定。
  - ▷ 対象：愛知県内及び浜松地域に本社のあるスタートアップ、起業後概ね10年以内の企業
  - ▷ 選定者数：20社（愛知・名古屋地区14社、浜松地区6社）

### 【内閣府アクセラレーションプログラムへの参加】

- 内閣府において、グローバル拠点都市のスタートアップを対象として海外トップアクセラレータによるアクセラレーションプログラムを実施。
- J-Startup CENTRAL 選定企業のうち、当地域から12社が参加。
  - ▷ 時期：2021年1月末～3月末（4月13日、15日にデモデイ開催）
  - ▷ 内容：海外トップアクセラレータ（※）の実施するアクセラレーションプログラムに参加し、事業構想策定、プロモーション活動に係る支援等を受け、海外投資家等に対するデモデイを通じ、海外市場展開、ネットワークの構築等を目指す。

（※）Techstars(Born Global Course)、WiL World Innovation Lab (Global Preparation Course)

J-Startup CENTRAL

【ロゴの意味】

「J-Startup」のロゴがベース。

カラーはディープテックを表すディープブルーとスタートアップの進取の気風を表すグリーン。